



2022 年度 卒業生アンケート 結果報告

郡山女子大学短期大学部編（抜粋版）

目次

1. 調査の概要.....	1
2. 回答状況について.....	2
3. 卒業後の就職状況について.....	2
4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの.....	2
5. 短大時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか.....	3
6. 短大時代に身につけておくべきであると思うもの.....	3
7. 卒業生から在校生へのメッセージ.....	4

1. 調査の概要

・調査目的

卒業後3年が経過した卒業生へアンケートを送付し、定着状況や当時の就職支援について回答してもらい、今後の就職指導および学習指導の参考とする。

・調査対象

郡山女子大学短期大学部の令和元年度卒業生

・アンケート期間

令和4年7月25日～令和4年9月16日

・送付数

短大265名（内訳：健康栄養学科49名、幼児教育学科144名、音楽科9名、地域創成学科61名、専攻科文化学専攻2名）

※23名が未達返却

・回収率

41名（16.9%） ※未達分を除いて回収率を算出

内訳：健康栄養学科6名、幼児教育学科26名、音楽科0名、地域創成学科9名、専攻科文化学専攻0名



2. 回答状況について

令和元年度就職決定者（2019年3月卒業）は265人おり、全員を対象として発送したが、返送があった人数は、41名となっている。

回答率は発送人数に対して16.9%（前年度13.3%）である。

3. 卒業後の就職状況について

回答があった41名に関して、卒業後就職した勤務先で働いているかと尋ねた。学生の約73%は卒業時の会社で勤務しており、就職サポートについて良好であるといえる。

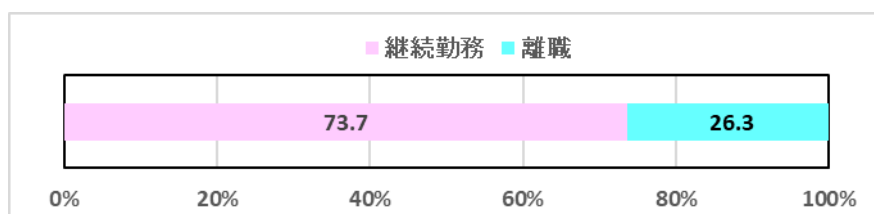


図 1. 勤務状況

4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの

就職活動後に自分に不足していたものを11項目で評価してもらった。項目は、「一般知識」、「専門知識・技術」、「取得資格」、「コミュニケーション能力」、「積極性・行動力」、「就職への意欲」、「就職情報量」、「パソコン操作」、「社会人としてのマナー」、「特にない」、「その他」とした。

結果は、「コミュニケーション能力」、「積極性・行動力」が多い結果となった。もっと自発的に行動ができていたらと考えさせられるような思いがあったと思われる。コミュニケーション能力や積極性・行動力は、自ら人と関わるために必要とされる能力であるため、それに起因する公開などがあつたと推測される。次に「パソコン操作」となっており、必要とされる情報の検索・エントリーシート作成など苦勞したことがあつたのではないか。パソコン操作は、今や必須能力であるため、学業だけでなく自己啓発で自ら積極的に身に付けてほしい。

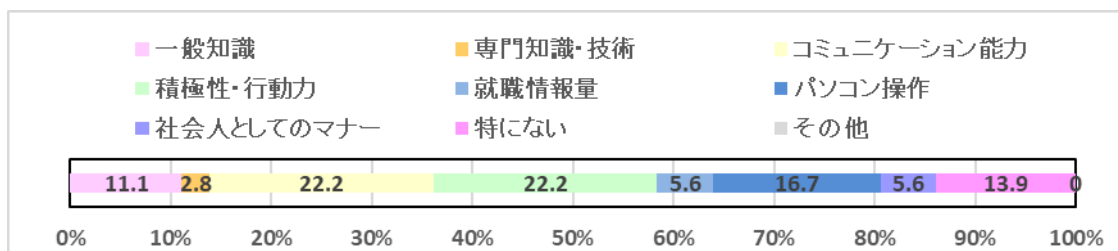


図 2. 就職活動を終えて自分に不足していた能力



5. 短大時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか

専門分野を活かした就職ができているかを確認するため、「大いに関連がある」、「やや関連がある」、「あまり関連がない」、「全く関連がない」の4択で評価してもらった。結果は、「大いに関連がある」、「やや関連がある」あわせて約88%の学生が専門分野を生かした就職をしているという結果だった。短大は、短い期間で就職に必要な専門分野と教養を身に付け地域貢献を目的としているため、専門分野との関連が深い。

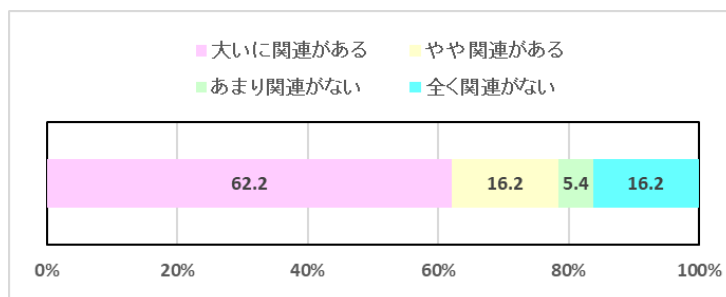


図 3. 専門分野と仕事との関連

6. 短大時代に身につけておくべきであると思うもの

「専門知識」、「分析・考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「プレッシャーの中で力を発揮すること」、「時間を有効に使う力」、「他の人と効率よく仕事をする力」、「他の人の知識や能力を結集する力」、「意図を明確に伝える力」、「リーダーシップ」、「パソコン技術」、「新たなアイデアや解決策を見つけ出す姿勢」、「文章能力」、「その他」など、13項目について確認した。中でも「専門知識」、「他の人と効率よく仕事をする力」と回答している学生が約21%と多い。実際の現場では、個人での仕事よりも部署を横断したチームでの仕事することとなり、進捗管理やお互いの状況にあわせた対応が必要となるため、このように感じたと思われる。また、専門知識も基礎の繰り返しという場合もあるが、より専門的な内容が求められることもあるため、専門知識と回答したと思われる。インターンシップや実習を通し、専門知識の活用方法などを身に付ける機会を増やしてほしい。

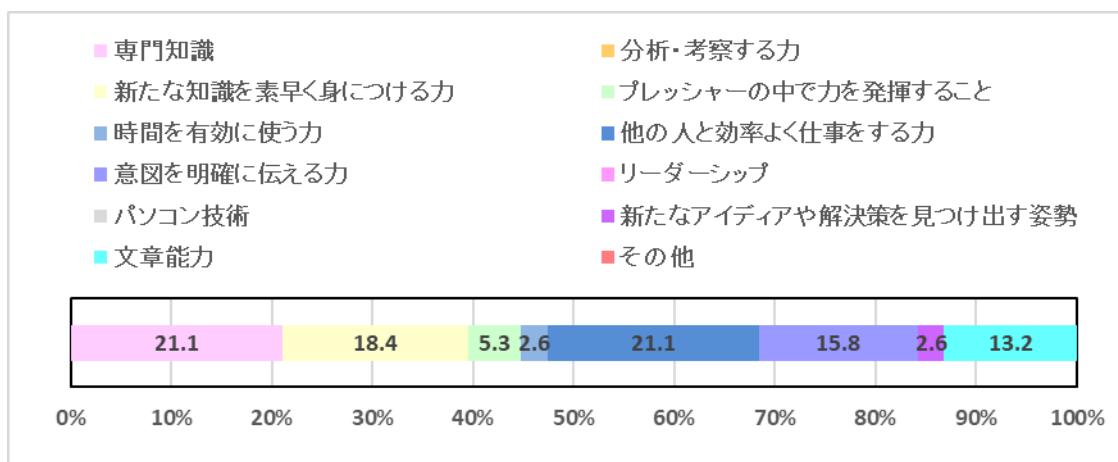


図 5. 身につけておくべき力



7. 卒業生から在校生へのメッセージ

最後に卒業生より、在校生へのメッセージをいただいた。

大学での勉強も大学での生活も有限の時間なのでその限られた時間を大切に有意義に楽しんで過ごして欲しいです。

あっという間の学生期間。大いに学びチャレンジして後悔のないよう楽しんでください。

アドバイザーや大学の先生方、友人、就職した先輩方、力になってくれる人はたくさんいます。周りの人脈をたくさん活用してコミュニケーション能力を高めながら、自分の就きたい仕事、やりたいことを見つけて励んでください。

もし仕事に行き詰った時には、1人で悩まず、家族や相談できそうな上司、先生へ話をすることで心が落ち着くこともあるので相談してみてください。仕事関係以外に人間関係等の悩みも出てくるかもしれないので、あまり背負わず、相談してみてくださいね。
頑張ってください！！

将来のことを考え、仕事仲間の人間関係も大事だが、収入や休暇のこともよく考えて決めるといいと思います！

失敗をしても、何事も経験だと思って挑戦してほしい。

保育士は楽しい事だけではなく大切な命を預かる仕事の為、大変な事や辛い事も沢山あります。ですが、確実にやりがいのある仕事です。

自分のやりたい仕事に就くことができると、やりがいを感じます。色々な事を経験して、自分の仕事に誇りを持って働けるように学生時代を無駄にせず、頑張ってください。

実際に保育の現場に出てみると、責任の重さがずっしりきて毎日くたくたです。でも子ども達はやっぱり可愛くて、今まで出来なかった事が出来るようになったり、運動会等行事に向けて必死に頑張る子ども達の姿を見ると、幼稚園の先生続けて良かったなって思います。大変な分得られるものが十分にあるし、これからも続けていきたいと思っています。頑張れ後輩達！！

しっかりと、短大の時間を大切にしたい方が良い。エプロンシアターや手袋シアターなど絶対に使う。1歳児7月くらいからなら見てくれるしエプロンシアターなら、おおきなかぶ、桃太郎、はらぺこあおむしなどが良い。手袋シアターは、トンボのメガネ、三匹の子ぶたなどよい。パネ



ルシアターなども、誕生日会などにも使うため作っておくと便利。製作活動もあるためいろんな知識をみにつけておくのが良い。また、手遊び歌を沢山知っとくと便利。空き時間が絶対にある為。そのぐらいですね。もし何かあれば連絡下さい。

対人コミュニケーション力を磨くと、知識だけでは到達が難しいところまで行けることがあります。インテリジェンスに加えて、社交性を磨いておきましょう。

その会社に務めていた人や務めている人の話を聞くことも大切だということ。

地元が福島県外だと情報が集まりにくいです。早めの行動は大事ですが、焦ってすぐに決めると後悔します。今学校でしていることやアルバイトなどから、何が得意で何が苦手かを見つけておくといいと思います。自分は自己分析が何なのか良くわかっていなかったのも、その理解から始めるといいと思います。応援しています。